

第4回 実践活動

[日 時] 平成28年7月23日 (土) 7:30 - 8:30

[場 所] 女川駅前

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう パート2

- 世界に誇れる『あいさつ・清掃・ゴミ拾い』を目指して -

「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」の実践活動の第2回目を女川駅周辺で行いました。昨年度も行いましたが、町の風景がまた変わり、復興の様子を間近に感じながらの活動となりました。



天気は快晴。ただ、海が目の前ということもあり、この時期にしては心地よい海風が吹く中、40数名弱でゴミ拾い活動がスタートしました。昨年度から加わった塾生は、実践活動には毎回5人家族全員で参加してくださっています。親子で参加してくださった塾生もいました。



女川駅前から海へとまっすぐに広がる「おながわプロムナード」。2015年12月に復興のシンボルとして作られた商業施設「シーパルピア女川」も、きれいに整備されていることもあり、塾生もゴミ探しに必死になりながら行いました。ただ、こうして常に町がきれいなのは、「ゴミが捨てられない雰囲気」ができていんだろうな」「これだけキレイだったら、やっぱり汚したくないよなあ」と話す塾生もいました。



駅前には整備されているが、道を一本外れると道路の整備や宅地の造成など、まだまだ復旧作業途中の女川。ゴミの中には、受注書や作業工程を示す指示書などの紙類、プラスチック紐などの作業で使ったであろう物品の一部などもありました。



今回のゴミ拾いでは、駅周辺にほとんどゴミがなかったため、塾生は駅を基点に四方八方に分かれて、それぞれ遠くまで歩み進めました。駅の裏側や造成の進む分譲地、そして、墓地。墓地近辺の排水溝には、通りから見えない部分にたくさんのゴミがあり、塾生はやりがいを感じていたようでした。



町のきれいさに苦戦した第4回のゴミ拾いでしたが、終わってみれば、かなりの数のゴミが集まりました。塾生自身がゴミのありそうな場所まで足を延ばし、一見見逃しそうな場所をくまなく探した成果が見て取れます。ゴミは表からは見えない場所にあるもの。塾生たちの「自分たちの住む町をきれいになりたい」「何かの役に立ちたい」という思いが、しっかりと実践に生かされたゴミ拾い活動となりました。

メニュー

ホーム



耕人塾の活動	▼
令和2年度の活動	>
令和元年度の活動	>
平成30年度の活動	>
平成29年度の活動	>
平成28年度の活動	▼
第1回	
第2回 実践活動	
第3回	
第4回 実践活動	
第5回 実践活動	
第6-7回 宿泊研修	
第8回	
第9回 実践活動	
第10回	
第11回	
平成27年度の活動	>
平成26年度の活動	>
平成25年度の活動	>
平成24年度の活動	
報道・受賞	